

研究通信

№ 62

1968・6刊

村落社会研究局
会 社 務 局

東京教育大学 学部
文 学 部
社会学研究室内

第二回研究会の報告と討論（特集）

今秋の大会の共通課題「村落社会の変化に対する推進力」をめぐ
る第二回研究会は、昭和四二年五月一八日午後四時より八時すぎま
で、本郷学士会館で開かれました。第一回研究会における島崎会員
の報告と同様に、今回も報告内容を録音再生により全国の会員諸氏
にお伝えします。前回はテープの予備を欠いたためお伝えできな
かった討論部分の内容も、今回は東京教育大学の民秋言会員の献身的
尽力によって再生しご検討に供することができ、以て今秋大会にお
ける共通課題に関する討論の素材とします。

本号を特集・特大号として編集した主旨を活用されて、先の六〇
号における島崎報告、六一号における山本・島田両会員の意見など
と合せて、以下の蓮見報告とこれに続く討論をお読み下さり、六三
号（六月末日投稿受付へ切）の編集に間に合うようご意見をお寄せ
下さるより期待します。

蓮見氏は「秋の大会ならば村の調査報告をこまかくおこなってそ
のなかから問題点をひろいあげるのがいいのだが、ここではむしろ
多少乱ぼりに私の考えていることをお話しすることの方が、問題点
の整理に役立てていただきやすいだろうという意味で、粗雑な一般

論を敢てやってみる」と前置きして、以下のような報告を行い、
活潑な討論を呼び起すことに成功しました。